

平成 16 年 12 月 10 日

各 位

会 社 名 三井化学株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中西宏幸  
(コード番号 4183 東証第 1 部)  
問合せ先 I R・広報室長 古賀義徳  
(TEL. 03 - 6253 - 2100)

## 会社分割によるポリオレフィン事業部門の分社化のお知らせ

当社、出光興産株式会社(以下「出光興産」という。)及び出光石油化学株式会社(以下「出光石化」という。)は、平成 16 年 5 月 17 日、当社と出光石化のポリオレフィン事業を統合することにつき、基本的に合意した旨お知らせ致しました。その後、当社及び出光興産(平成 16 年 8 月 2 日付で出光石化を吸収合併)は、両社のポリオレフィン事業統合の詳細につき、更に協議を進めてまいりましたが、今般、合意に達しましたので、当社は、平成 16 年 12 月 10 日の取締役会において、出光興産とのポリオレフィン事業統合を目的とした共同会社分割計画書を承認し、平成 17 年 4 月 1 日を期して、下記のとおり当社のポリオレフィン事業部門を会社分割し、株式会社プライムポリマー(以下「新設会社」という。)に承継することを決議致しましたのでお知らせ致します。

### 記

#### 1. 会社分割の目的

化学業界においては、欧米化学企業がアライアンスにより規模を巨大化し競争力を強化している一方、アジアや中東における競争者が新增設により生産能力を急激に増加させるなど、ボーダーレス化した国際競争がますます激しくなっています。

特に、原料ナフサ価格の高騰、輸入関税率の切り下げ、加工製品の輸入量の急増等により、ポリオレフィン事業は厳しい事業環境に置かれており、各社個別のコスト切り下げ等の努力のみでは競争力を維持することが極めて困難な状況にあります。

したがって、当社は、出光興産とともに、それぞれのポリオレフィン事業を統合し、両社の合弁会社として運営していくことにより、生産、販売、研究のすべての面で、コスト削減、シナジー効果の発現を図ることを目的として、本件会社分割を実施するものであります。

## 2. 会社分割の要旨

### (1) 分割の日程

分割計画書承認取締役会	平成16年12月10日
分割計画書締結	平成16年12月10日
分割期日	平成17年4月1日(予定)
分割登記	平成17年4月1日(予定)

(注) 当社は、産業活力再生特別措置法第12条の5(簡易新設分割に関する特例)及び商法第374条の6第1項(簡易分割)の規定により、株主総会の承認を要せずして、会社分割を行います。

### (2) 分割方式

#### 1) 分割方式

当社及び出光興産を分割会社とし、新設会社を承継会社とする共同新設分割(分社型)

#### 2) 当分割方式を採用した理由

両社の事業を新設会社に包括承継させることができ、他方式と比較しその手続きが容易であること。

### (3) 株式の割当

#### 1) 株式割当比率

新設会社は、本件分割に際して、普通株式200,000株を発行し、65:35の比率で、当社に130,000株、出光興産に70,000株をそれぞれ割り当てます。

#### 2) 株式割当比率の算定根拠

当社はゴールドマン・サックス証券会社(以下「ゴールドマン・サックス」という。)を、出光興産は大和証券 SMBC 株式会社を、各々財務アドバイザーに起用して、事業価値の評価を依頼しました。当社と出光興産は、各々の財務アドバイザーの助言を受け、協議を重ねた結果、株式割当比率を当社65%、出光興産35%とすることに合意しました。

#### 3) 第三者機関による算定結果、算定方法及び算定根拠

ゴールドマン・サックスは、当社により承認された財務予測に基づくディスカунティッド・キャッシュフロー方式及び倍率方式等による価値評価を総合的に勘案し、株式割当比率の算定を行いました。

(4) 分割交付金

分割交付金は支しません。

(5) 承継会社が承継する権利義務

分割期日現在の当社及び出光興産のポリオレフィン事業に関する資産・負債及びこれに付随する権利・義務

(6) 債務履行の見込み

本件分割において、当社及び新設会社の負担すべき債務につき履行の見込みがあると判断しています。

(7) 承継会社に新たに就任する役員

取締役 木村 峰男（当社）

取締役 濱田 眞治（出光興産）

（以下省略）

3. 分割当事会社の概要（分割会社は平成16年3月31日現在。承継会社は予定）

(1) 商号	三井化学株式会社（分割会社）	株式会社プライムポリマー（承継会社）
(2) 事業内容	石化原料、ポリオレフィン、合繊原料、ペット樹脂、フェノール、工業薬品、エラストマー、機能性ポリマー、工業樹脂、機能加工品、電子材料、情報材料、農業化学品、精密化学品等の製造、加工、売買ならびにそれらに付帯関連する業務等	ポリエチレン及びポリプロピレン（ポリオレフィン）の製造、加工、販売、輸出入等の業務
(3) 設立年月日	1947年 7月25日	平成17年4月1日（予定）
(4) 本店所在地	東京都港区	東京都港区
(5) 代表者	代表取締役社長 中西 宏幸	代表取締役社長 木村 峰男（予定）
(6) 資本金	1,032億円	200億円（予定）
(7) 発行済株式総数	789,156,353株	200,000株（予定）
(8) 株主資本	3,542億円	760億円（平成16年9月末試算値）
(9) 総資産	8,803億円	1,400億円（平成16年9月末試算値）

(10) 決算期	3月	3月
(11) 従業員数	5,045人	約900名(見込み)
(12) 主要取引先	(販売)三井物産、丸紅、三菱商事 (仕入)三井物産、エクソンモービルビジネスサービス	(販売)三井物産、東セロ、出光ケミカルズ香港、豊田通商 (仕入)三井化学、出光興産
(13) 大株主及び持株比率	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) 13.69% 日本マスタートラスト信託銀行(信託口) 11.64% 日本トラスティ・サービス信託銀行(三井アット信託銀行再信託分・東レ退職給付信託口) 4.74% 新生銀行 2.71% 三井住友銀行 2.37%	三井化学 65% 出光興産 35%
(14) 主要取引銀行	三井住友銀行、中央三井信託銀行、みずほコーポレート銀行	未定
(15) 当事会社間の関係	資本関係	資本関係 三井化学65%出資
	人的関係	人的関係 三井化学から役員の派遣、社員の出向を行なう
	取引関係	取引関係 三井化学から原料、用役等の販売を行なう

(16)最近3決算期間の業績

決算期	三井化学株式会社(分割会社)		
	平成16年3月期	平成15年3月期	平成14年3月期
売上高(百万円)	718,405	700,754	595,845
営業利益(百万円)	28,246	29,376	26,165
経常利益(百万円)	30,849	25,297	25,270
当期純利益(百万円)	6,909	8,522	8,645
1株当たり当期純利益(円)	8.73	10.74	10.96
1株当たり配当金(円)	6.00	6.00	6.00
1株当たり株主資本(円)	450.47	435.17	436.08

#### 4. 分割する事業部門の内容

##### (1) ポリオレフィン事業部門の内容

高密度ポリエチレン、低密度ポリエチレン、直鎖状低密度ポリエチレン及びポリプロピレン並びにこれらのコンパウンドの製造、販売、研究等

##### (2) ポリオレフィン事業部門の平成16年3月期における経営成績

	ポリオレフィン事業部門(a)	当社16年3月期実績(b)	比率(a/b)
売上高	132,756百万円	718,405百万円	18.5%
売上総利益	16,388百万円	136,511百万円	12.0%

##### (3) 分割資産、負債の項目および金額(平成16年3月31日現在)

資 産		負 債	
項 目	帳簿価額	項 目	帳簿価額
流動資産	57,340百万円	買掛金	1,869百万円
固定資産	26,963百万円	未払金他	3,863百万円
合 計	84,303百万円	合 計	5,732百万円

#### 5. 分割後の当社の状況

(1) 商 号 三井化学株式会社

(2) 事業内容 石化原料、合繊原料、ペット樹脂、フェノール、工業薬品、エラストマー、機能性ポリマー、工業樹脂、機能加工品、電子材料、情報材料、農業化学品、精密化学品等の製造、加工、売買ならびにそれらに付帯関連する業務等

(3) 本店所在地 東京都港区

(4) 代 表 者 中西宏幸

(5) 資 本 金 本件分割による変動はありません。

(6) 総 資 産 本件分割による減少見込み額：69,728百万円(平成16年9月30日現在での試算値)

(7) 決 算 期 3月31日

(8) 業績に与える影響

本件分割後、当社の業績に重大な影響を与える事態は、現在のところ予測していません。

(平成18年3月期の連結・単独業績見通しは、平成17年3月期決算時に発表する予定です。)

以 上